

2024年3月期第1四半期

# 決算説明会

---

2023年7月27日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

<b>1. 業績概況</b>	.....	<b>P. 2</b>
<b>2. 中期経営計画の進捗</b>	.....	<b>P. 9</b>
<b>3. 決算添付資料</b>	.....	<b>P. 17</b>
<b>4. 会社情報</b>	.....	<b>P. 32</b>

# 業績概況

SB Technology

FY23  
Q1業績

公共・エンタープライズにおける増収で売上高はQ1として過去最高  
通信での投資抑制影響、採用強化などにより営業利益は減益

受注  
状況

受注高は前期受注の自治体情報SC※影響等により減少したものの、  
地図関連における横展開案件の実証フェーズを受注

FY23  
業績予測

子会社フォントワークス(株)の株式譲渡に伴う特別利益計上により  
当期純利益は期初予想に対して+42.5億円の82億円へ上方修正

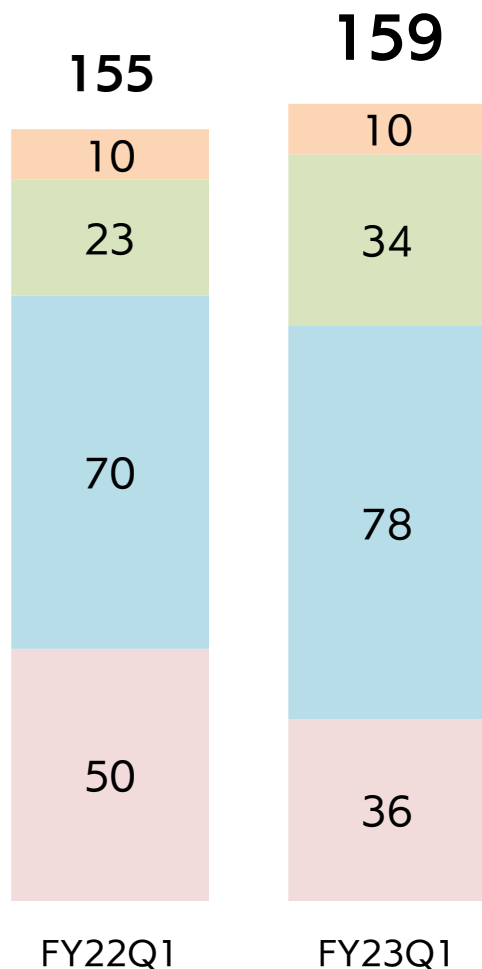
(通期業績予想 売上高 680億円 営業利益 59億円へ修正)

- 公共・エンタープライズが伸長するも、通信の投資抑制影響や販管費増により営業利益は減益
- 子会社の株式評価減に伴う特別損失等を計上し純利益は▲1.4億円の減益

	百万円 (利益率)	FY23Q1	FY22Q1	増減額	増減率
売上高		過去最高 15,958	15,560	+397	+2.6%
営業利益		1,057 (6.6%)	1,085 (7.0%)	▲28	▲2.6%
経常利益		1,054 (6.6%)	1,070 (6.9%)	▲15	▲1.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		505 (3.2%)	646 (4.2%)	▲141	▲21.9%
EBITDA ※		過去最高 1,505	1,494	+11	+0.7%

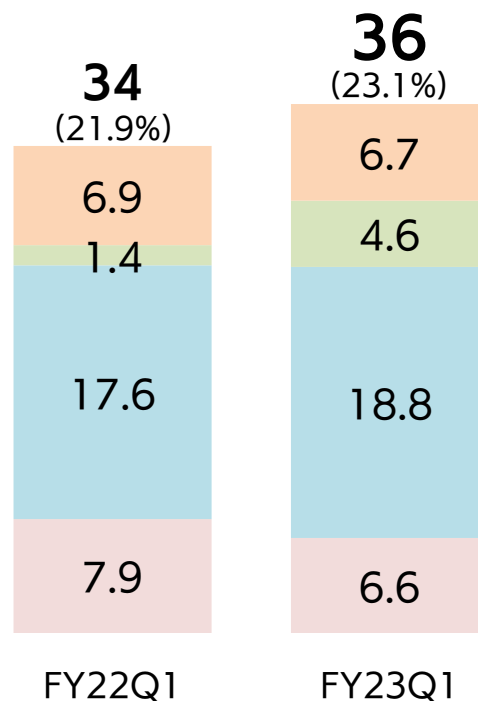
※EBITDA = 営業利益 + のれん償却費（販管費） + 減価償却費

## 売上高



## 売上総利益

億円  
(利益率)



### 個人： 売上横ばい・減益

- ・ (株)ノートンライフロックとの契約変更影響があったものの、概ね期初想定どおりに進捗

### 公共： 増収・増益

- ・ 農林水産省向けと自治体情報SCの運用案件により売上が伸長、利益率も改善

### エンタープライズ： 増収・増益

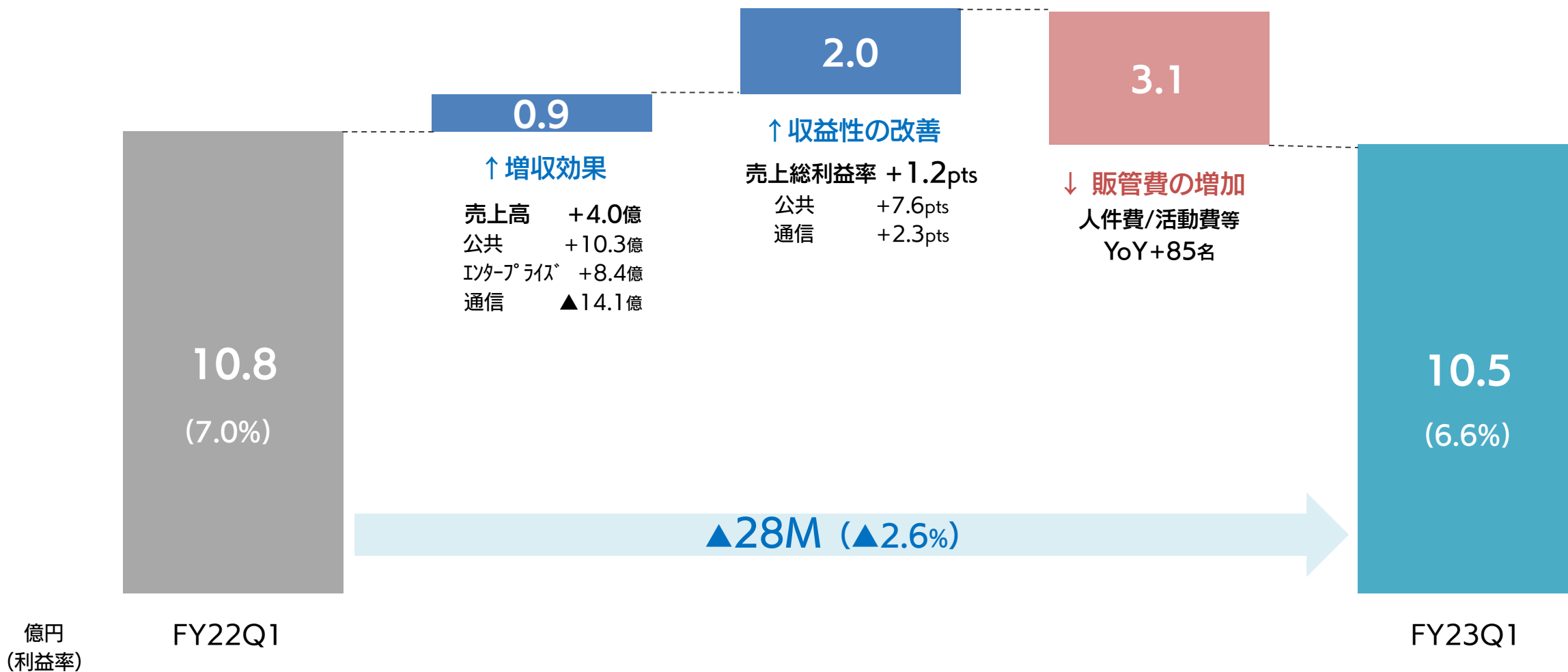
- ・ 注力顧客グループへ深耕のためのライセンス販売があり一時的に利益率が低下
- ・ 製造業向けのクラウド構築やMSS※が好調に推移

### 通信： 減収・減益

- ・ ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制影響により減収したものの、効率化が進み利益率は改善

※：マネージドセキュリティサービスの略

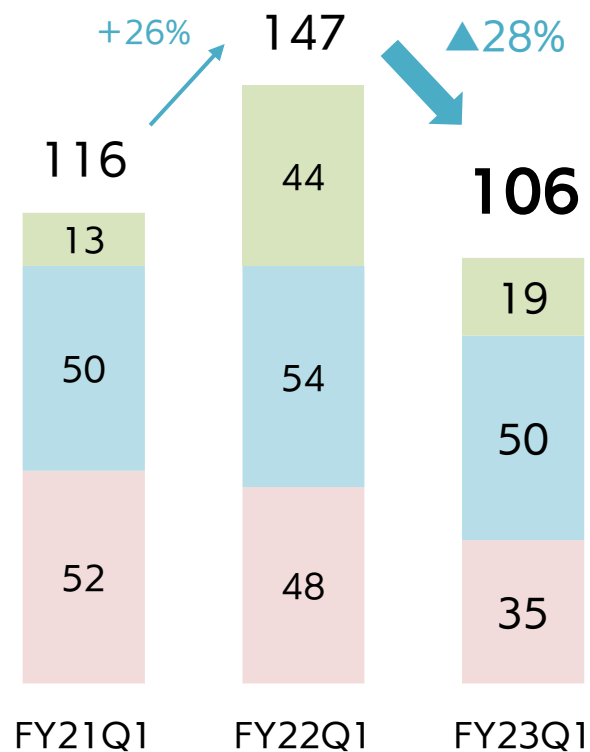
- 公共や通信の収益性が改善し、売上総利益率は+1.2ポイント
- 採用を強化し連結社員数1,500名超へ、販管費の増加により営業利益は28百万円の減益



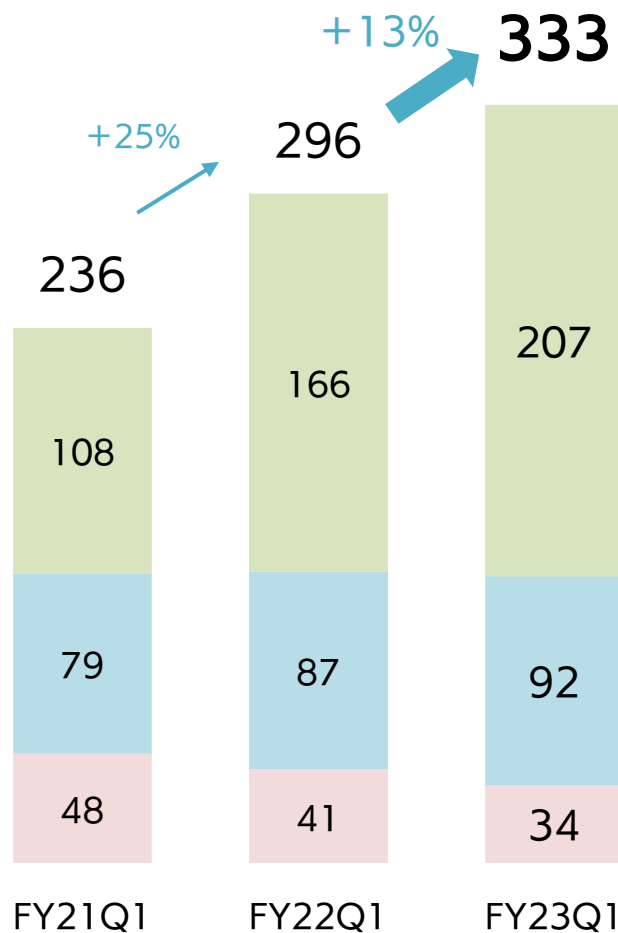
## 受注高

億円

- 公共
- エンタープライズ
- 通信



## 受注残高



単体受注残高  
(YoY)

**37** 億円増

### FY23Q1 主な受注状況

- 公共：デジタル庁の不動産登記ベース・レジストリに関する実証フェーズを受注、FY22Q1に自治体情報SCや農水省案件を受注しており反動減
- エンタープライズ：ラベス・機器販売が減少
- 通信：社内システムの定常開発やベンダーマネジメント案件が減少
- 受注残高のうち約6割がFY23売上予定



- 連結子会社であるフォントワークス(株)の株式を2023年9月1日付で譲渡するにあたり、通期業績予想を修正
- 期初計画から個人向け売上▲10億円、営業利益▲5億円、売却益の影響により当期純利益は+42.5億円
- エンタープライズ・公共を中心にセキュリティやクラウド活用で成長する方針は変わらず

	百万円 (利益率)	FY23 (期初予想)	FY23 (今回修正)	増減額	FY23Q1 (実績)	進捗率
<b>売上高</b>		<b>69,000</b>	<b>68,000</b>	<b>▲1,000</b>	<b>15,958</b>	<b>23.5%</b>
通信		16,300	16,300	0	3,669	22.5%
エンタープライズ		35,400	35,400	0	7,862	22.2%
公共		14,000	14,000	0	3,403	24.3%
個人		3,300	2,300	▲1,000	1,023	44.5%
<b>営業利益</b>		<b>6,400</b> (9.3%)	<b>5,900</b> (8.7%)	<b>▲500</b> (▲0.6%)	<b>1,057</b> (6.6%)	<b>17.9%</b>
<b>経常利益</b>		<b>6,350</b> (9.2%)	<b>5,750</b> (8.5%)	<b>▲600</b> (▲0.7%)	<b>1,054</b> (6.6%)	<b>18.3%</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>		<b>3,950</b> (5.7%)	<b>8,200</b> (12.1%)	<b>+4,250</b> (+6.4%)	<b>505</b> (3.2%)	<b>6.2%</b>

# 中期経営計画の進捗

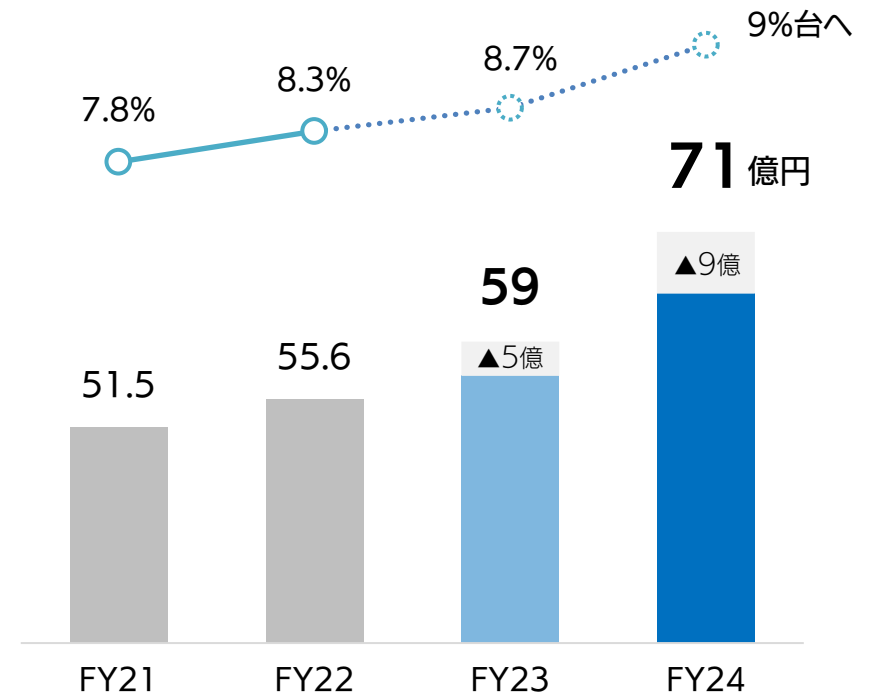
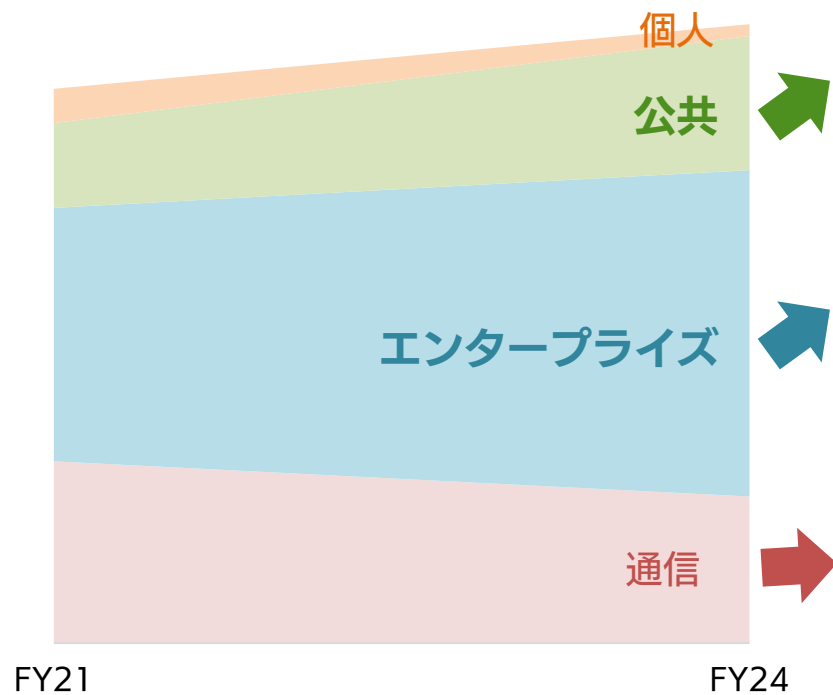
---

第4次中期経営計画（FY22～FY24）

＝ SB Technology

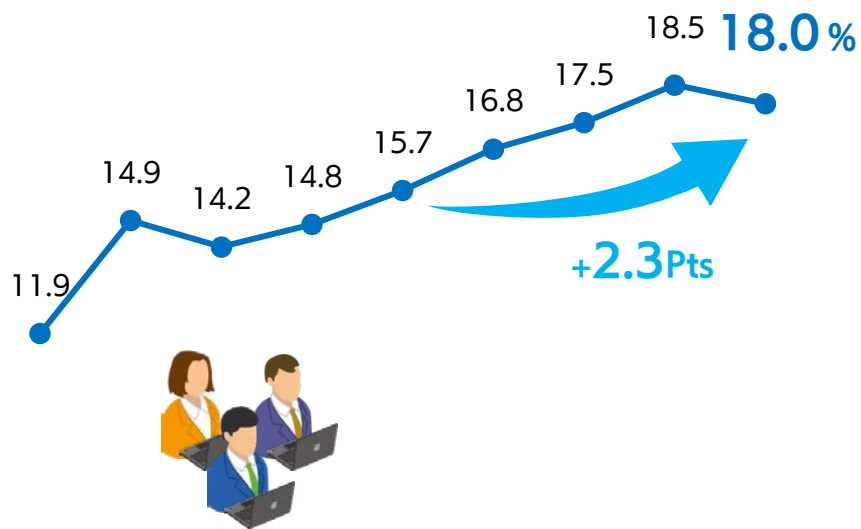
FY24 経営指標

1. 営業利益 80億円 → 営業利益 71億円
2. 営業利益率 9%台
3. クラウド・セキュリティ&サービス売上高 500億円超



子会社株式の譲渡に伴い、FY24の営業利益目標を71億円に修正  
引き続き営業利益率9%台を目指す

売上総利益率の推移



Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
FY21				FY22				FY23



オフショアの取り組み

コスト低減

コスト低減による付加価値向上でソフトバンク(株)とWin-Winの関係

+

ケイパビリティの拡充

提供技術領域を拡大、新たな領域の案件にも挑戦し受注

+

エンジニアリソースを拡大・効率化



- Q2より本格立ち上げ、Q3より拡大予定
- AI等先端領域でも先行活用し、エンタ・公共へ展開

Q1はオフショア展開に向けた先行投資などを実施、Q2から本格活用し下期以降に大幅拡大を予定



日本マイクロソフトのクラウドパートナープログラム

全6分野でソリューションパートナー認定

全6分野はSBTが日本国内で唯一の企業※1

マイクロソフト ジャパン  
パートナー オブ ザ イヤー 2023



10年連続で受賞

Microsoft 365 E5 Security および Microsoft Sentinel の導入支援を通じたお客様のデジタルトランスフォーメーション推進の取り組みが評価

Microsoft Top Partner Engineer Award が新設

当社より2名が受賞

「Business Application」 および 「Security」 の領域で案件の実績や先進性が評価



「Microsoft 365運用監視サービス」 市場  
「SIEM運用分析サービス/マネージドXDRサービス」 市場

ベンダー別売上金額シェア1位獲得※2

ITRが調査を行う国内のエンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス6分野の中で2冠を達成

「SIEM運用分析サービス」 市場

売上金額シェア1位獲得※3



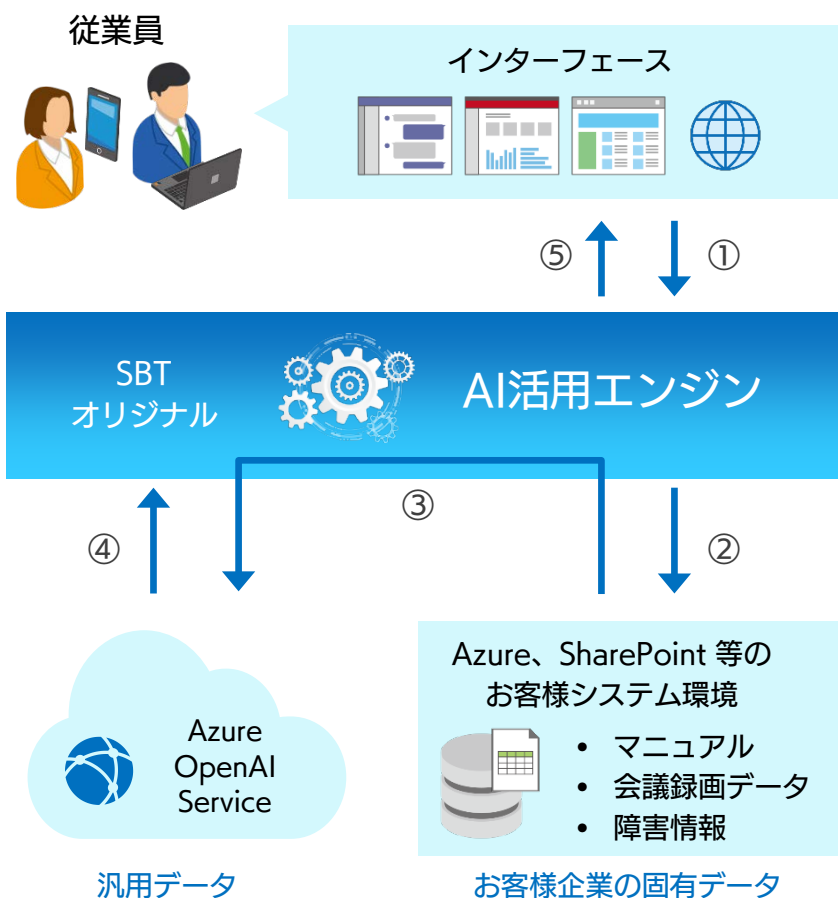
SIEM運用サービス市場において、2022年度の売上金額ベースで、国内シェア33.6%を占め、市場シェアトップ  
2023年度においても、SBTは前年比110.3%と二桁成長が見込まれ、シェア1位を予測

## Microsoftに関する技術や取り組みの評価に加え、近年はセキュリティ市場におけるプレゼンスも向上

※1：2023年7月時点

※2：出典 ITR 「ITR MarketView：エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」ベンダー別売上金額シェア（2021年度）

※3：出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所 「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」（2023年6月発行）<https://mic-r.co.jp/mr/02800/>



## お客様業種



## お客様の活用シーン・ニーズ

- 施工マニュアルなどマニュアル/社内規定参照
  - 施工ルールとの合致確認の回答
  - 新技術データ活用によるアイデア出し
- 薬品マニュアルの確認、参照
  - 学会データに基づいた回答
  - グローバル企業のため英語での入出力も可能
- 障害情報のサマリレポートや類似障害の検索
  - 会議動画をデータソースとした音声翻訳と要約

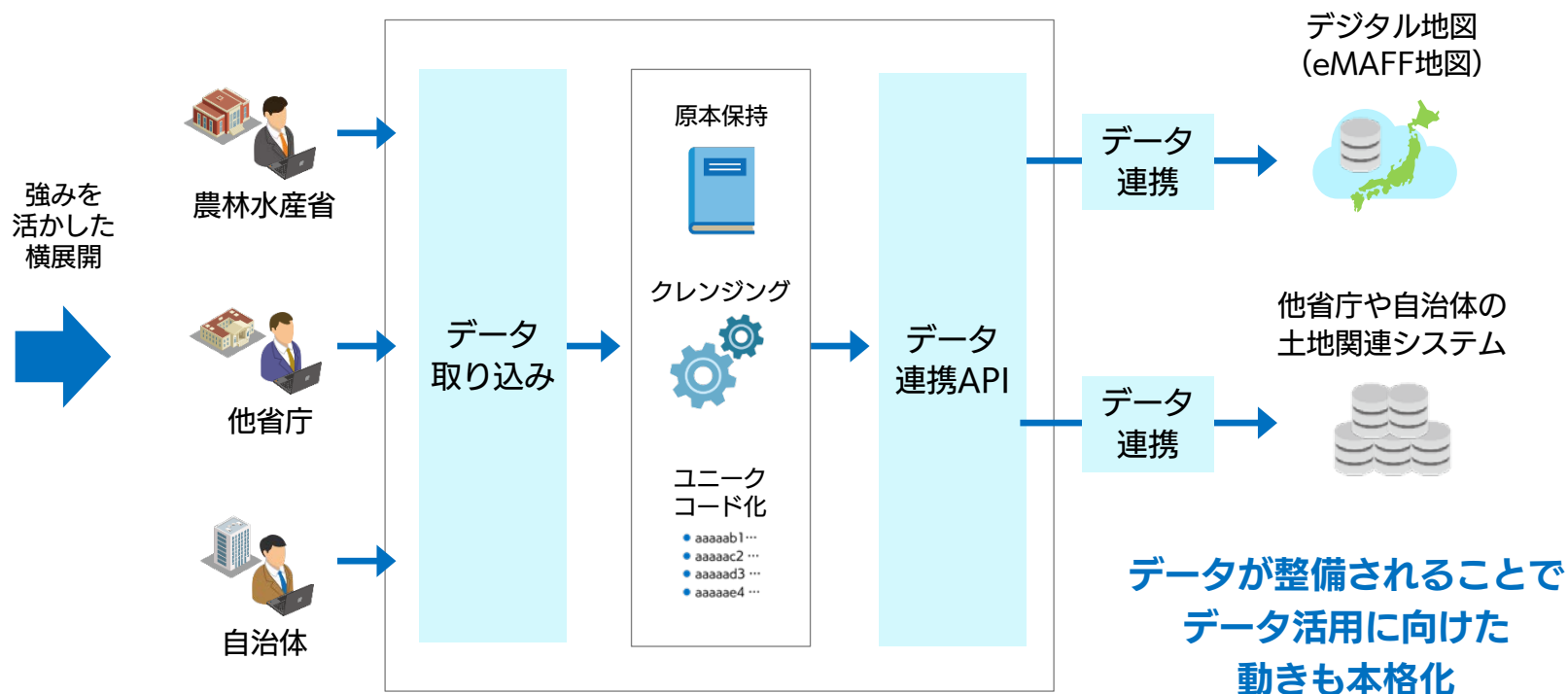
多様な顧客層に対して様々なAzure OpenAI Serviceの活用方法を支援  
当社の社内利用における知見も活かしながらお客様へ活用提案

SBテクノロジーの強み

農林水産省のデジタル地図 (eMAFF地図) を担当

この中で、後続案件でも必要な住所文字列に関するデータクレンジングおよび紐付け業務を実施

デジタル庁の不動産登記ベース・レジストリ\*実証案件概要



地図関連案件の横展開となる、不動産登記ベース・レジストリの実証案件を受注  
データが整備されることにより利活用など後続案件の範囲も拡大

1. 営業利益 80億円 → 71億円

2. 営業利益率 9%台

3. クラウド・セキュリティ&サービス  
売上高 500億円超



**情報革命で人々を幸せに**


**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

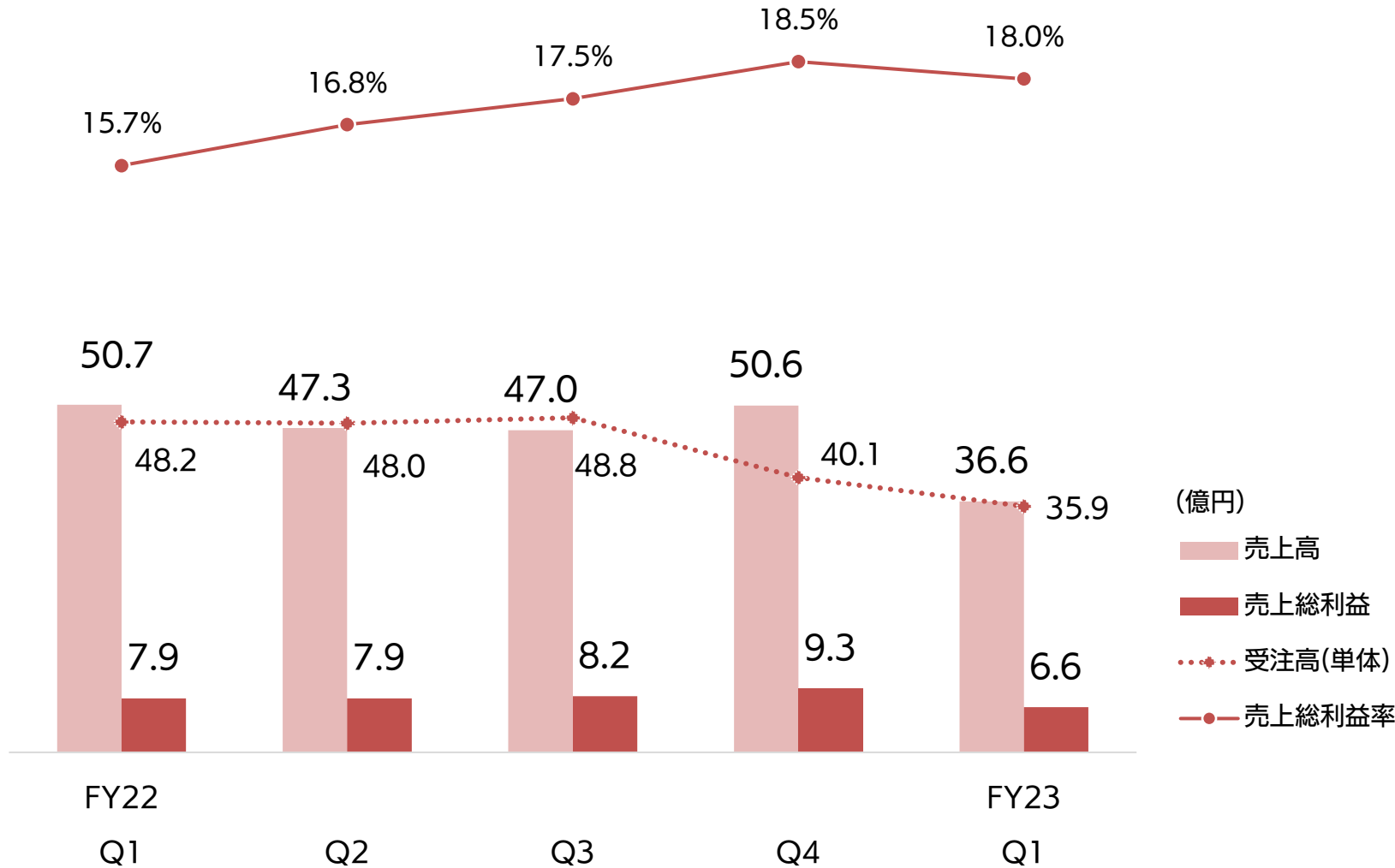
**＝ SB Technology**

# 決算添付資料

＝ SB Technology

2023年3月期より、事業ポートフォリオの変革の様子や  
当社業績と外部環境・他社との比較がわかりやすくなるよう以下のとおり変更いたしました

	<b>マーケット区分</b>	<b>ソリューション区分</b>	<b>利益指標</b>
FY22以降	通信 エンタープライズ 公共 個人	クラウドソリューション セキュリティソリューション テクニカルソリューション 機器・ライセンス	売上総利益
			
FY21まで	SBグループ 法人/公共 個人	ビジネスITソリューション コーポレートITソリューション テクニカルソリューション ECソリューション	限界利益



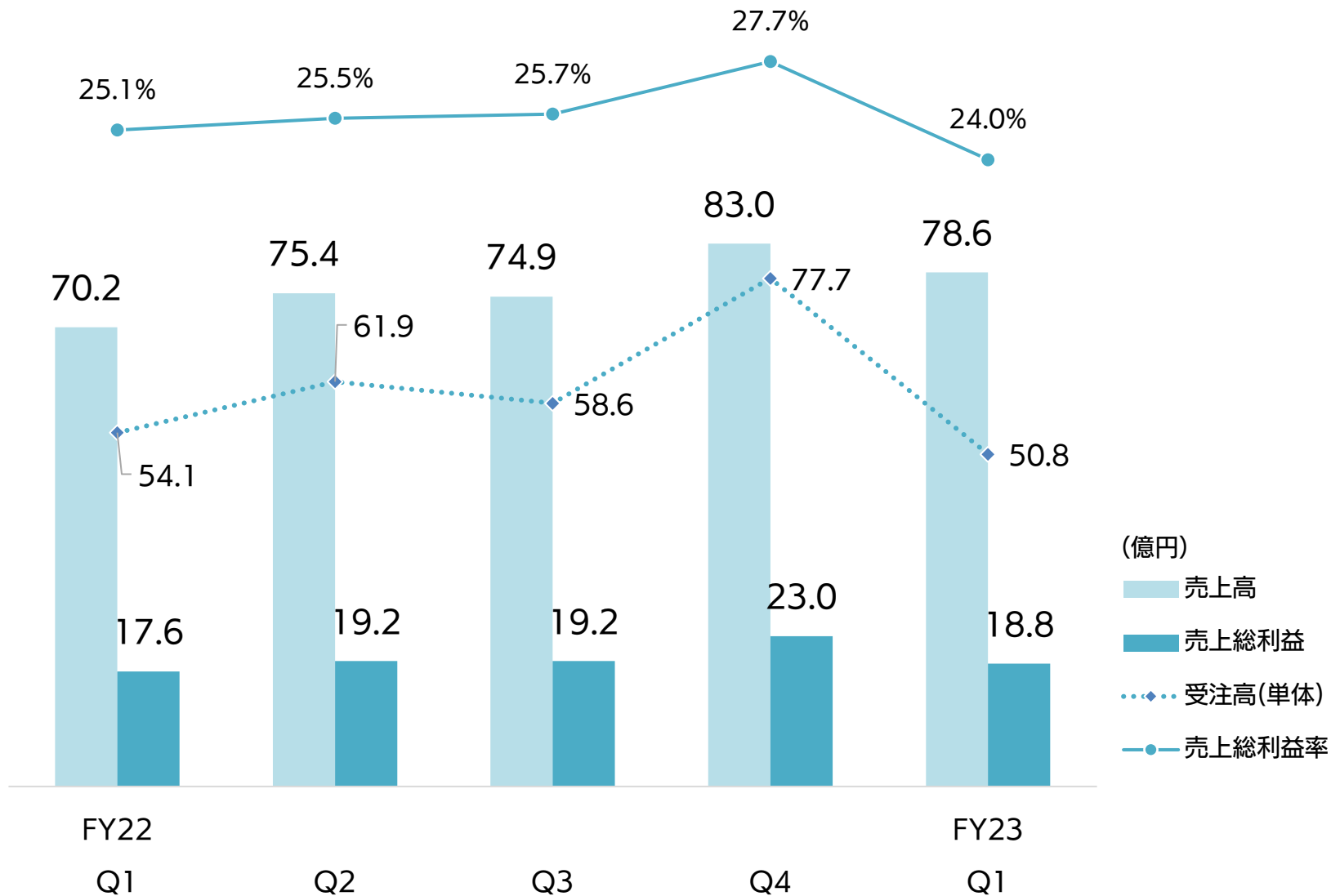
通信 (前年同期比)

受注高 (単体)

- ベンダーマネジメント案件の戦略的絞り込みや、オンプレミスでの社内システム開発・運用が減少

売上高/売上総利益

- ベンダーマネジメント案件や投資抑制の影響により期初想定通り減収
- 効率化が進み利益率が向上



### エンタープライズ (前年同期比)

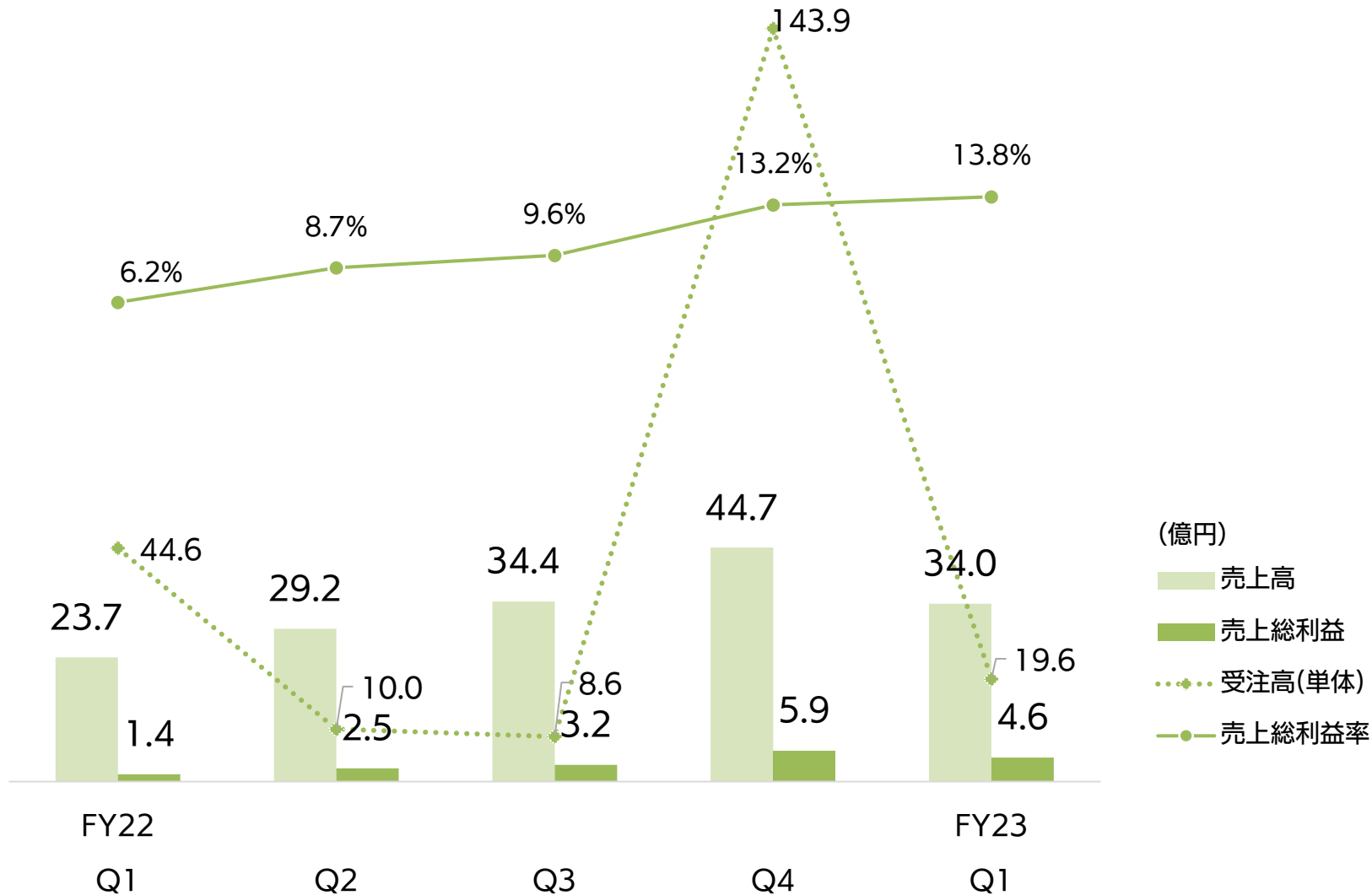
**受注高 (単体)**

- 自社サービスMSS※やクラウド運用保守案件が増加するも、大型の機器・ライセンス販売が減少

**売上高/売上総利益**

- 注力顧客グループ深耕のためのライセンス販売により一時的に利益率が低下
- 製造業向けのクラウド構築やMSSが好調に推移

※：マネージドセキュリティサービスの略



**公共（前年同期比）**

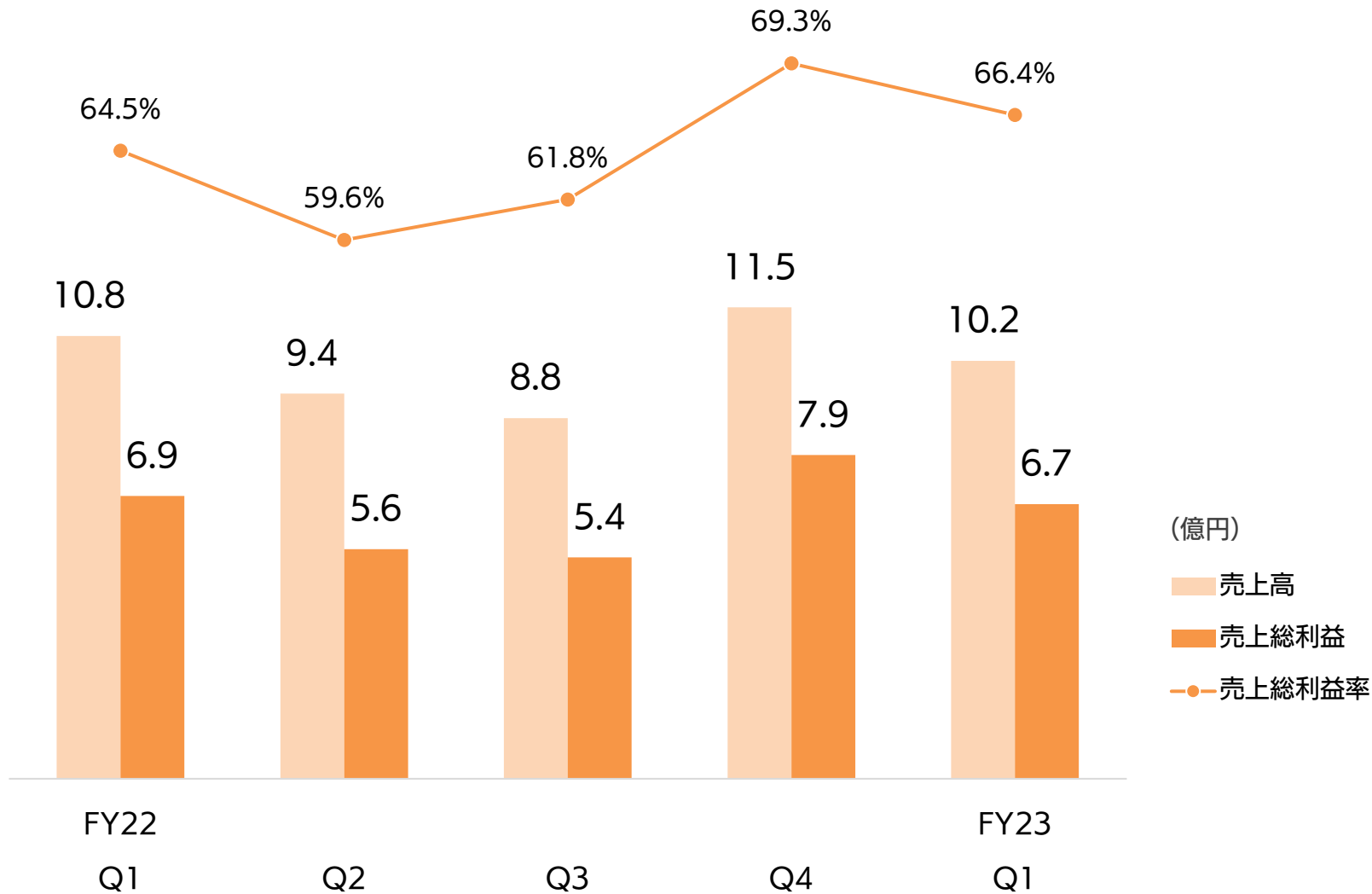
**受注高（単体）**

- デジタル庁の不動産登記ベース・レジストリ案件の実証フェーズを受注
- FY22Q1に自治体情報SC※や農水省向け開発案件の受注があり反動減

**売上高/売上総利益**

- 農林水産省向け電子申請案件や自治体情報SCが運用フェーズへ移行し、利益率も改善

※：セキュリティクラウドの略



**個人 (前年同期比)**

**売上高/売上総利益**

- 期初想定通り(株)ノートンライフロックとの契約変更の影響により、YoYで減収・減益

		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	前期比	
								増減額	増減率
連結業績（百万円）	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	+397	+2.6%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	+287	+8.4%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	+1.2pt	-
通信	売上高	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	▲1,409	▲27.8%
	売上総利益	797	794	821	935	3,348	660	▲136	▲17.1%
	利益率	15.7%	16.8%	17.5%	18.5%	17.1%	18.0%	+2.3pt	-
エンタープライズ	売上高	7,021	7,540	7,493	8,301	30,358	7,862	+840	+12.0%
	売上総利益	1,762	1,926	1,926	2,300	7,914	1,883	+121	+6.9%
	利益率	25.1%	25.5%	25.7%	27.7%	26.1%	24.0%	▲1.1pt	-
公共	売上高	2,374	2,927	3,442	4,477	13,223	3,403	+1,028	+43.3%
	売上総利益	147	254	329	590	1,322	468	+321	+217.8%
	利益率	6.2%	8.7%	9.6%	13.2%	10.0%	13.8%	+7.6pt	-
個人/ライセンス	売上高	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	▲61	▲5.7%
	売上総利益	699	563	547	799	2,610	679	▲19	▲2.8%
	利益率	64.5%	59.6%	61.8%	69.3%	64.1%	66.4%	+1.9pt	-

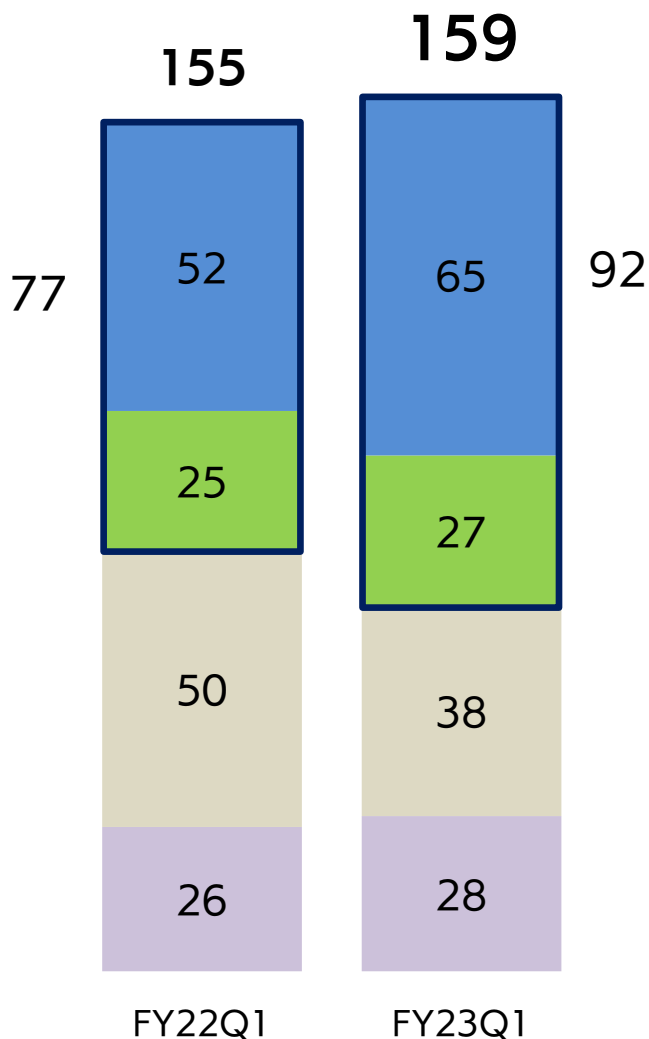
※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。



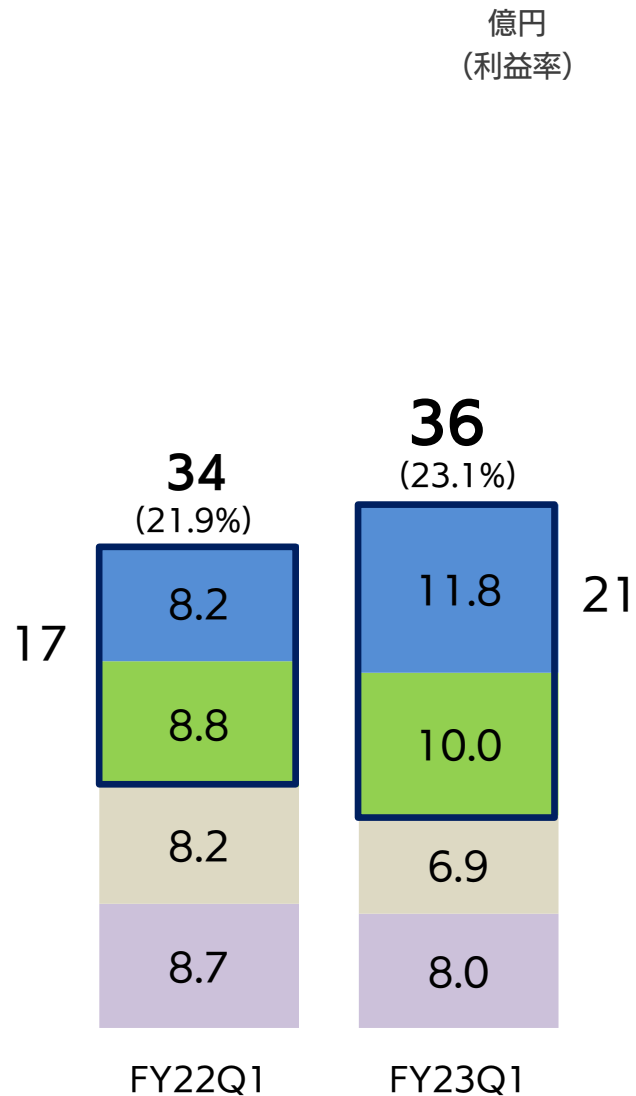
連結業績（百万円）	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	前期比	
							増減額	増減率
売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	+397	+2.6%
通信	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	▲1,409	▲27.8%
エンタープライズ	7,021	7,540	7,493	8,301	30,358	7,862	+840	+12.0%
公共	2,374	2,927	3,442	4,477	13,223	3,403	+1,028	+43.3%
個人/ライセンス	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	▲61	▲5.7%
売上原価	12,154	12,607	12,899	14,370	52,032	12,265	+110	+0.9%
売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	+287	+8.4%
販売管理費	2,320	2,353	2,354	2,609	9,637	2,636	+315	+13.6%
営業利益	1,085	1,184	1,271	2,015	5,557	1,057	▲28	▲2.6%
営業外損益	▲15	▲32	▲4	▲5	▲58	▲2	+13	-
経常利益	1,070	1,152	1,266	2,009	5,499	1,054	▲15	▲1.4%
特別損益	7	23	3	▲77	▲42	▲133	▲140	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	646	699	762	1,388	3,497	505	▲141	▲21.9%
EBITA	1,494	1,599	1,685	2,438	7,217	1,505	+11	+0.7%
単体 受注残高	29,602	27,921	25,641	35,939	35,939	33,388	+3,786	+12.8%

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

## 売上高



## 売上総利益



### クラウドソリューション：増収・増益

- 農林水産省向けデジタル地図、共通申請の運用が伸長
- エンタープライズ向けクラウド構築や案件も拡大

### セキュリティソリューション：増収・増益

- エンタープライズ向けMSS※が好調に推移

### テクニカルソリューション：減収・減益

- ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制により減収したものの、効率化が進み利益率は改善

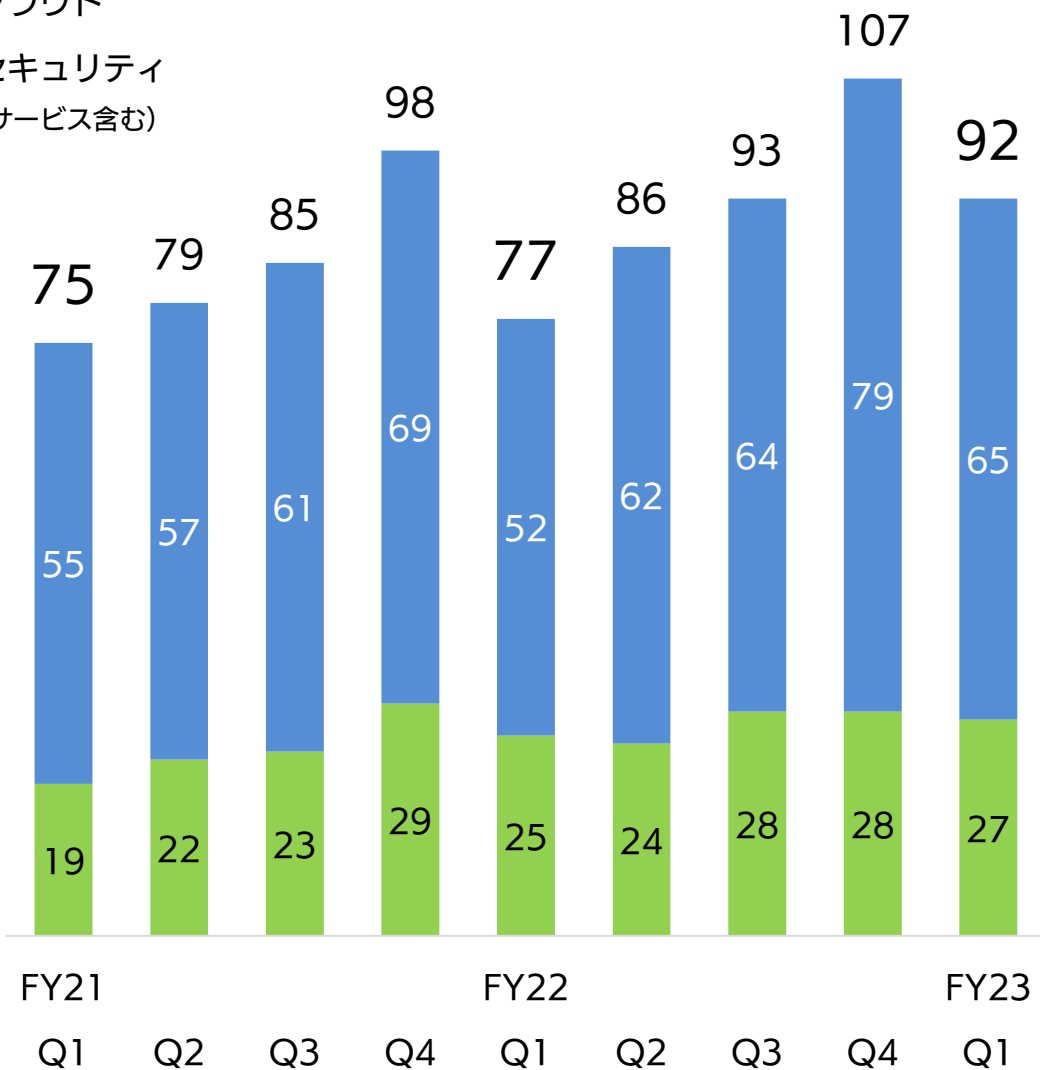
### 機器・ライセンス：増収・減益

- 注力顧客グループ深耕のためのライセンス販売により増収

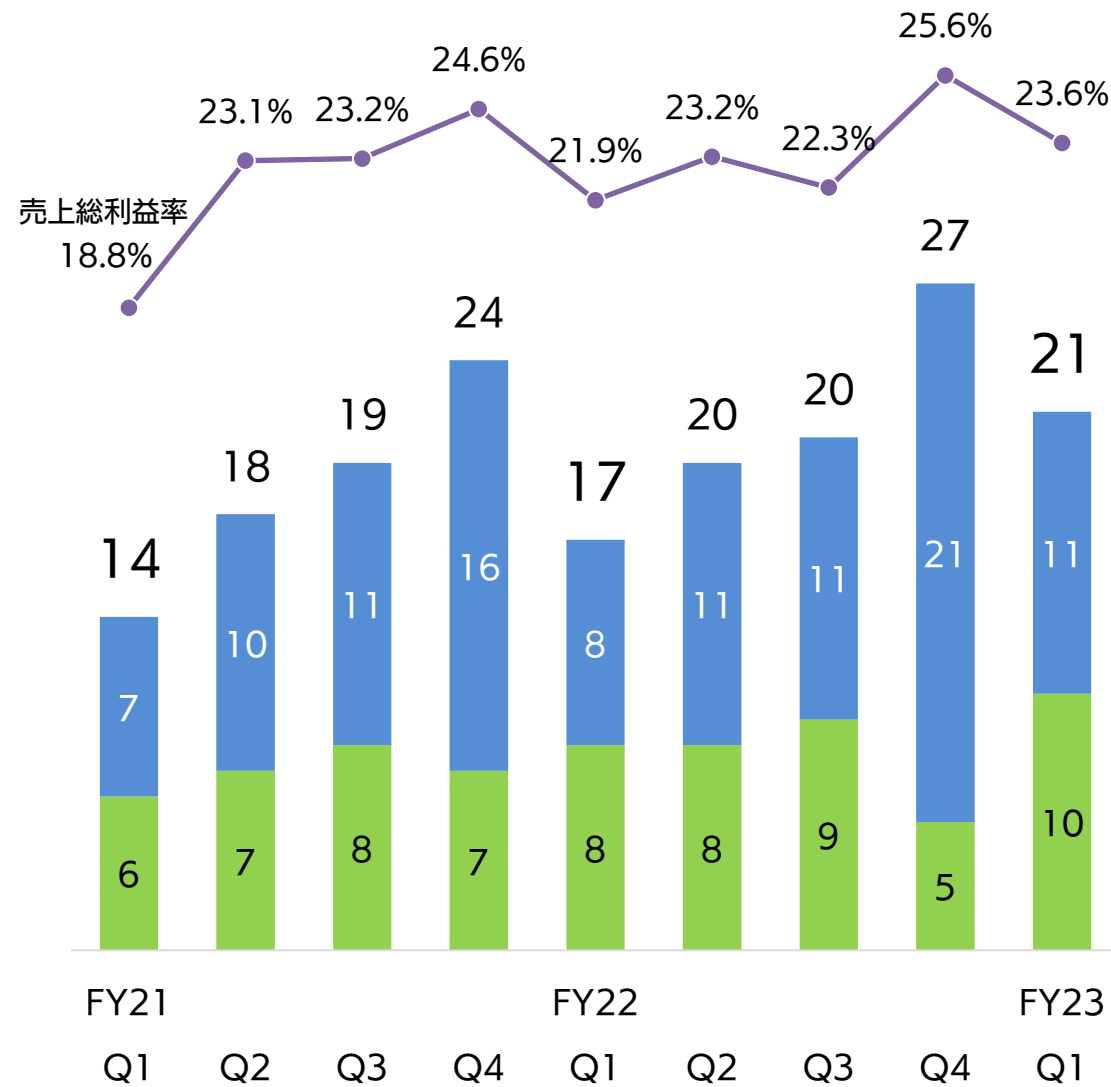
※：マネージドセキュリティサービスの略

## 売上高

■ クラウド  
■ セキュリティ  
(自社サービス含む)



## 売上総利益



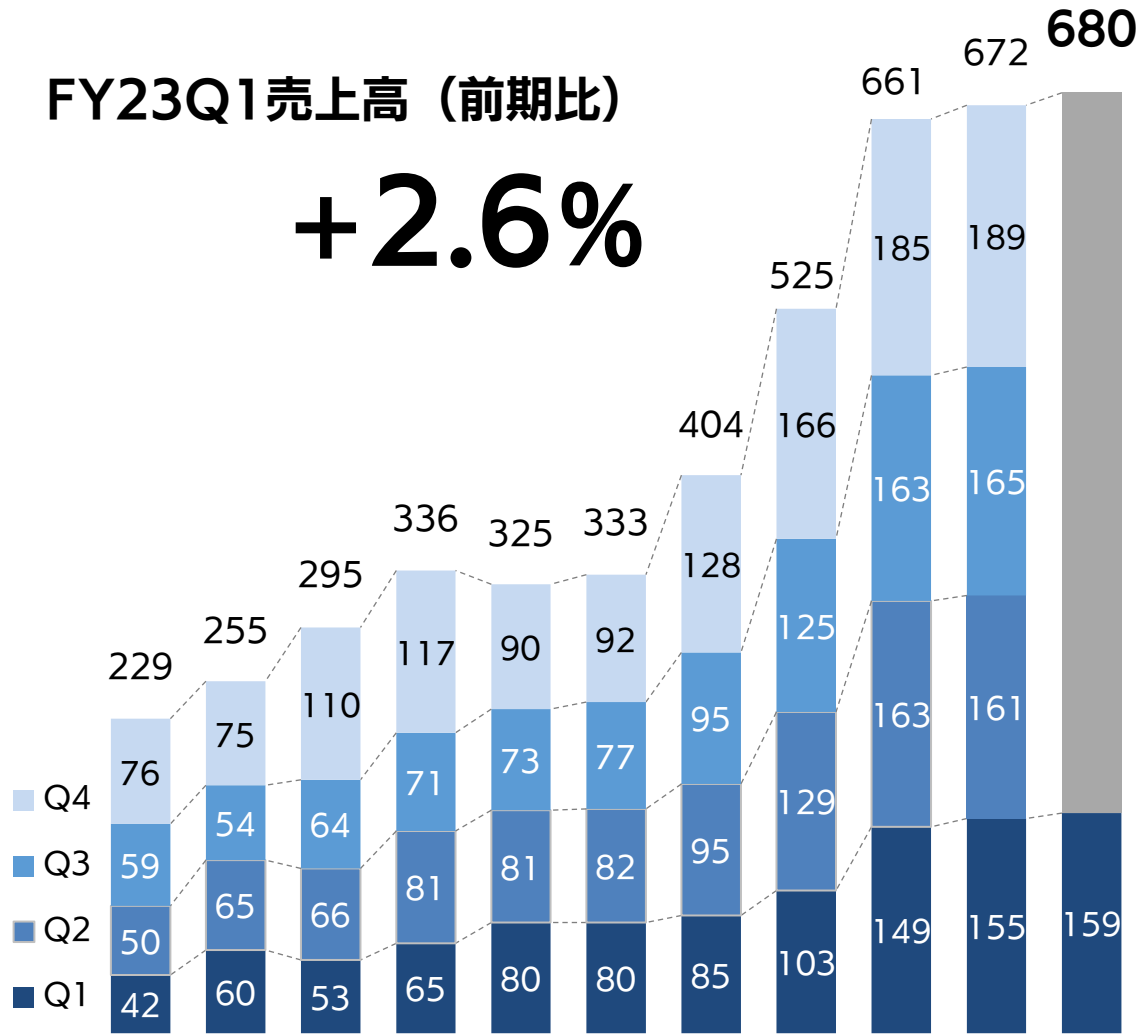
(億円)

		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	前期比	
								増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	+397	+2.6%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	+287	+8.4%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	+1.2pt	-
クラウド	売上高	5,225	6,140	6,427	7,928	25,722	6,536	+1,311	+25.1%
	売上総利益	825	1,148	1,099	2,195	5,268	1,187	+361	+43.8%
	利益率	15.8%	18.7%	17.1%	27.7%	20.5%	18.2%	+2.4pt	-
セキュリティ	売上高	2,566	2,551	2,903	2,818	10,840	2,758	+191	+7.5%
	売上総利益	883	870	981	555	3,290	1,006	+123	+14.0%
	利益率	34.4%	34.1%	33.8%	19.7%	30.4%	36.5%	+2.1pt	-
テクニカルソリューション	売上高	5,093	4,773	4,675	5,134	19,677	3,816	▲1,277	▲25.1%
	売上総利益	822	830	854	968	3,475	694	▲127	▲15.6%
	利益率	16.1%	17.4%	18.3%	18.9%	17.7%	18.2%	+2.1pt	-
機器販売/ライセンス	売上高	2,674	2,679	2,518	3,114	10,987	2,847	+172	+6.5%
	売上総利益	874	689	690	907	3,160	804	▲69	▲8.0%
	利益率	32.7%	25.7%	27.4%	29.1%	28.8%	28.3%	▲4.4pt	-
経営指標 合計	売上高	7,792	8,692	9,330	10,747	36,562	9,294	+1,502	+19.3%
	売上総利益	1,709	2,018	2,081	2,750	8,559	2,194	+485	+28.4%
	利益率	21.9%	23.2%	22.3%	25.6%	23.4%	23.6%	+1.7pt	-

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

## FY23Q1売上高 (前期比)

**+2.6%**

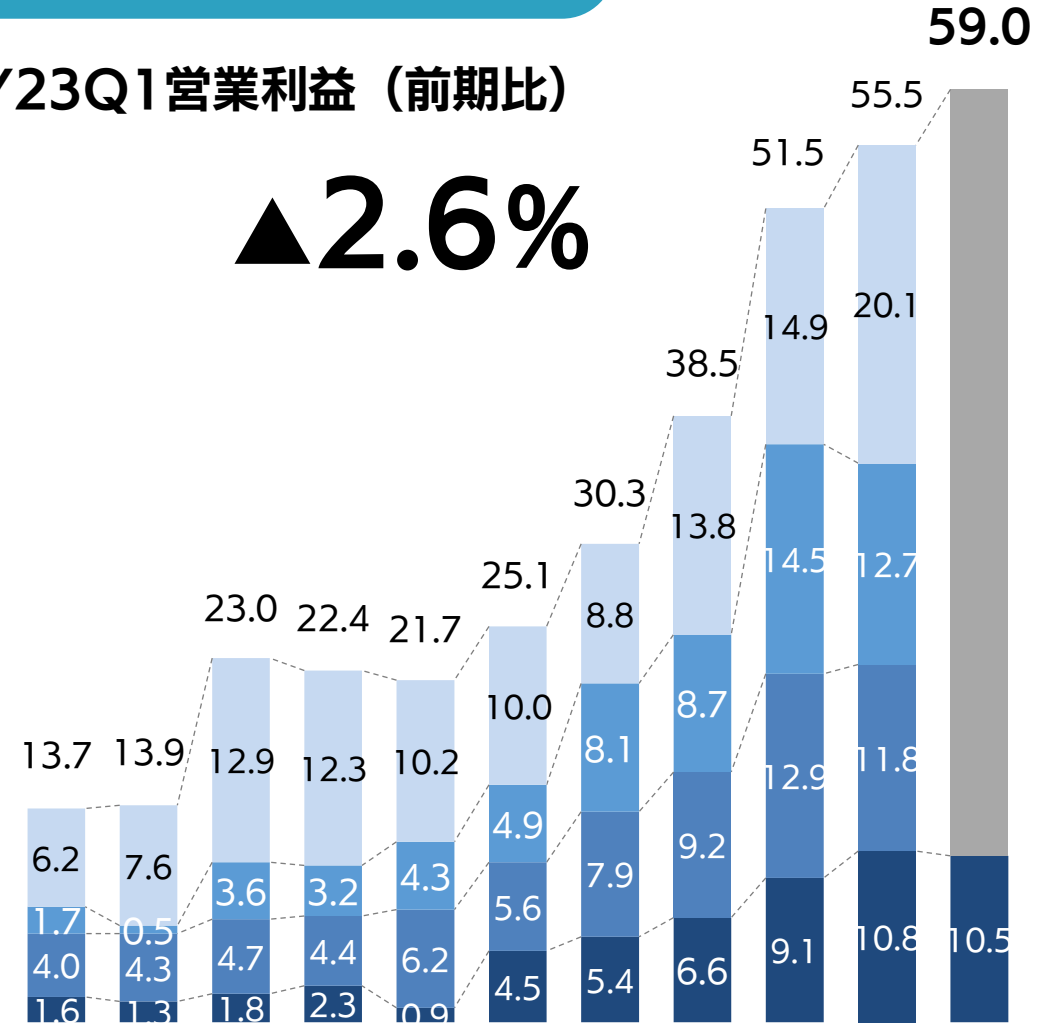


## 中計目標 営業利益71億円

(FY24連結営業利益)

## FY23Q1営業利益 (前期比)

**▲2.6%**



FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

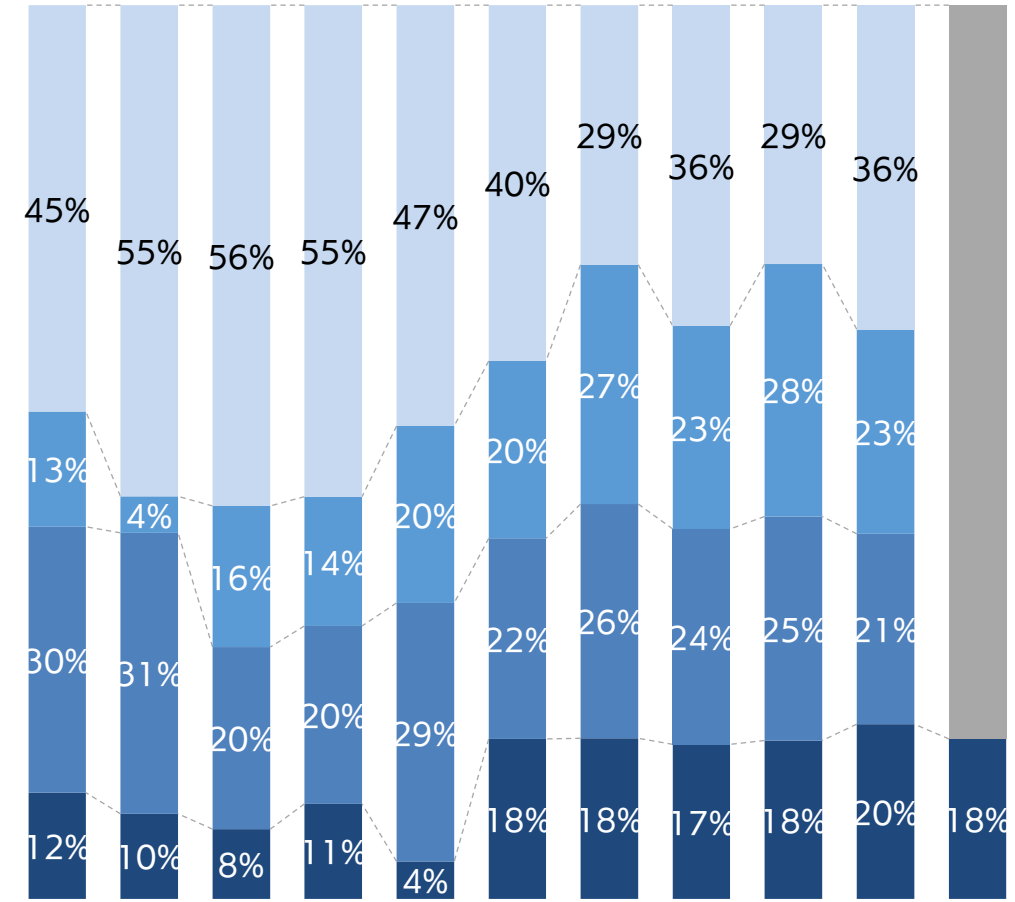
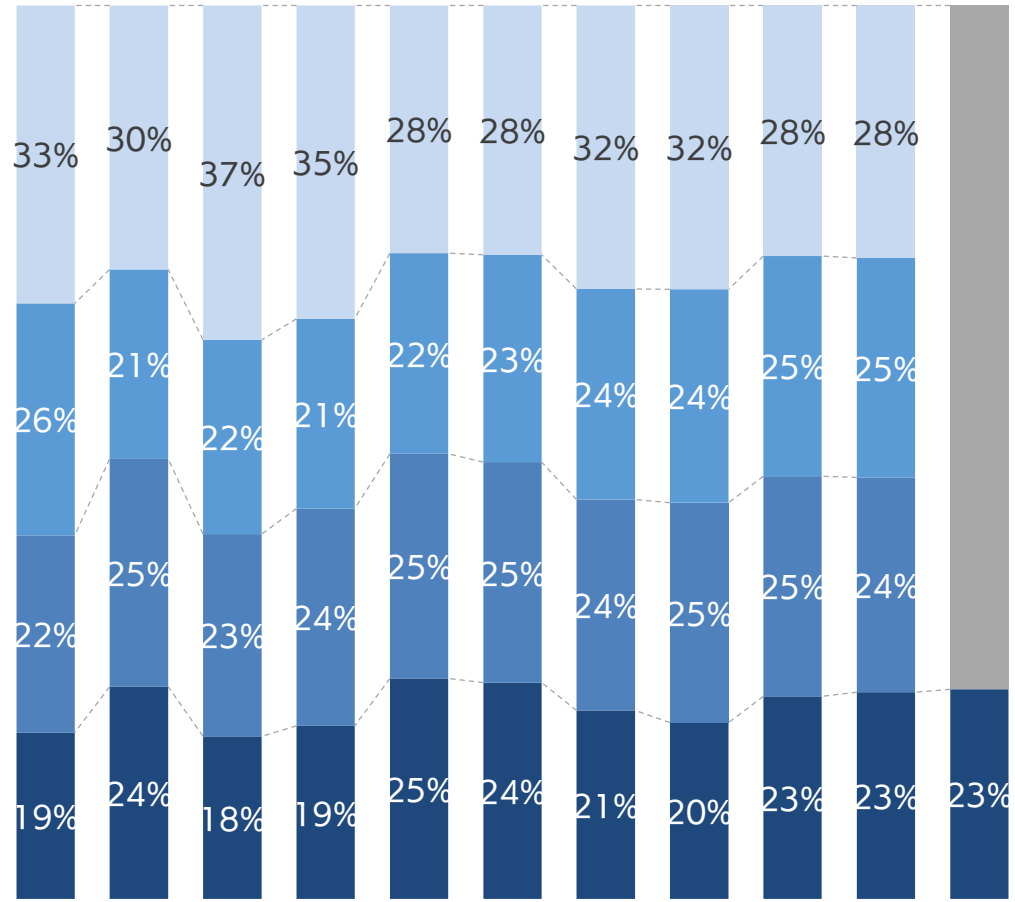
(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

## 売上高

## 営業利益

■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



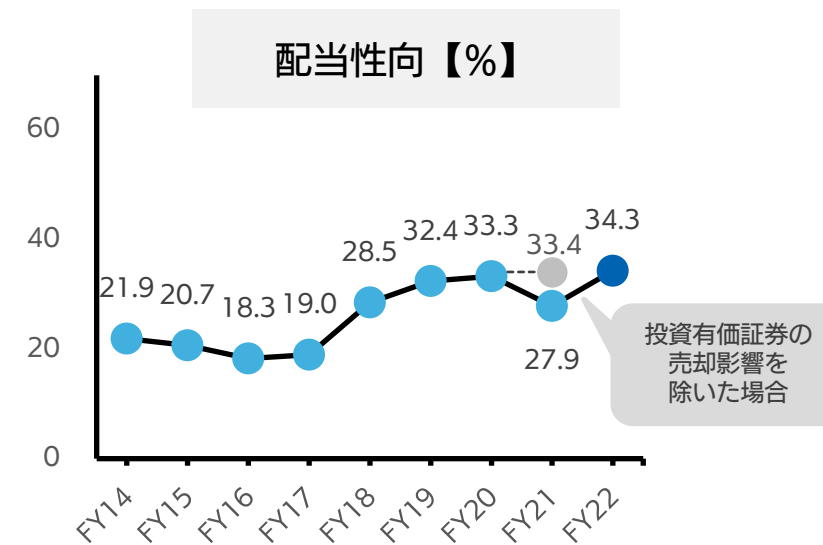
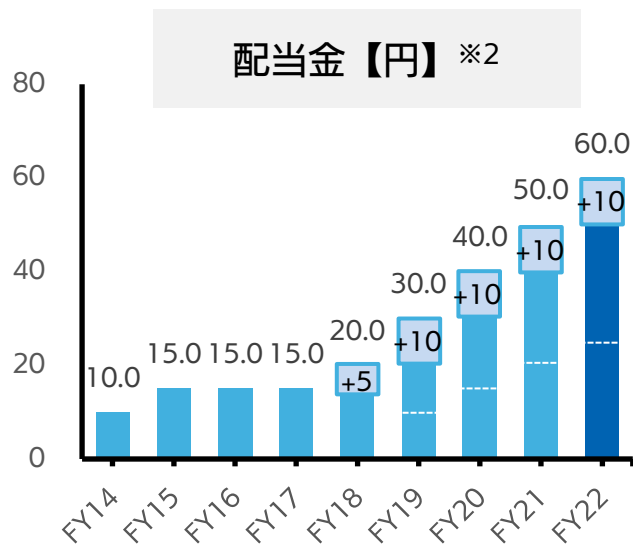
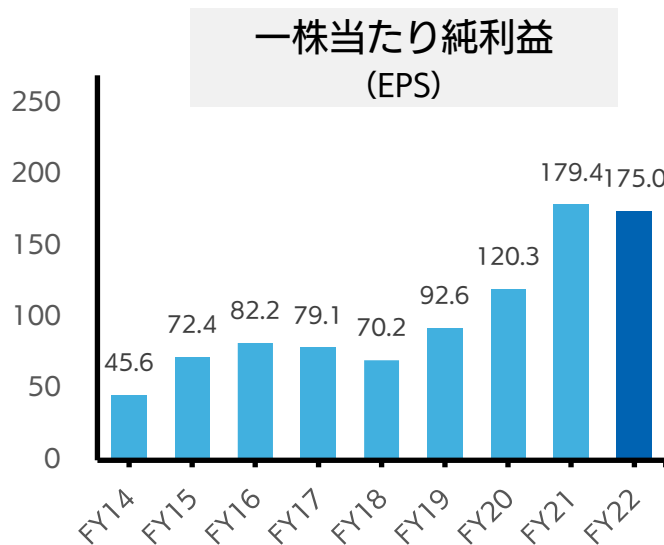
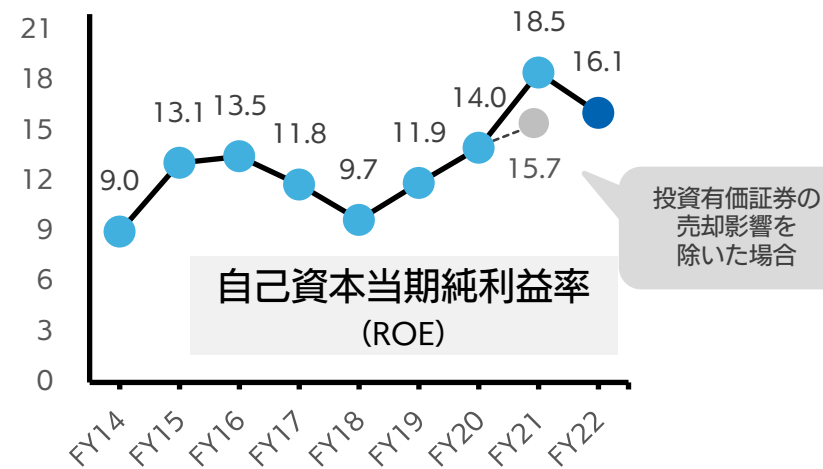
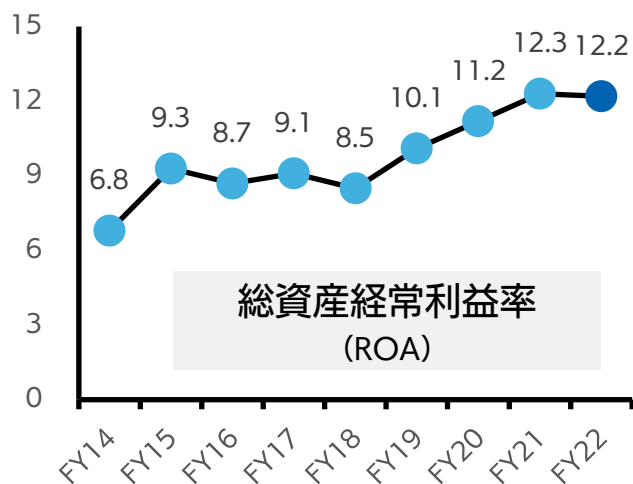
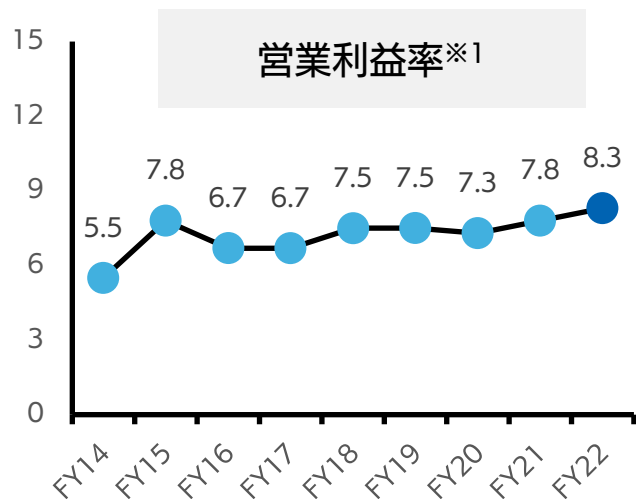
FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

(百万円)	2022/6末	2023/3末	2023/6末	前期末比	前年同期比
<b>流動資産</b>	29,872	35,622	31,585	△ 4,036	1,713
現預金	11,929	8,221	12,935	4,714	1,006
受取手形・売掛金	13,204	24,133	13,402	△ 10,731	197
<b>固定資産</b>	9,554	9,842	9,446	△ 395	△ 108
有形固定資産	1,663	1,681	1,659	△ 21	△ 4
無形固定資産	4,373	4,120	4,048	△ 71	△ 324
投資その他の資産	3,517	4,040	3,738	△ 302	220
<b>総資産</b>	39,429	45,466	41,032	△ 4,433	1,603
<b>流動負債</b>	14,469	18,590	14,477	△ 4,113	7
<b>固定負債</b>	1,951	1,708	1,555	△ 152	△ 396
<b>純資産</b>	23,007	25,167	25,000	△ 167	1,992



※1：FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、主要な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした際の営業利益率

※2：2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割、それ以前の配当額を調整



# 会 社 情 報

＝ SB Technology

## 会社概要

(2023年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)  
 所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号  
 事業内容 ICTサービス事業  
 設立 1990年10月16日  
 資本金 1,270百万円  
 従業員数 連結 1,417名 (単体 918名)

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号変更しております



ISMS認証登録範囲:  
 本社、芝大門、天王洲、  
 大阪、名古屋、福岡、富山

## 経営理念

**Mission** 存在意義

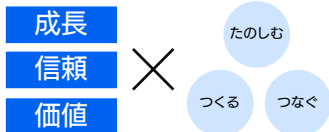
情報革命で人々を幸せに  
 ~技術の力で、未来をつくる~

**Vision** 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、  
 社会に新しい価値を提供し続ける

**Value** 価値観・行動指針

3つの視点  
 ×  
 3つのアクションで  
 多様性を認め合う



## 役員

(2023年6月19日現在)

### 取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市  
 取締役 CSO 佐藤 光浩  
 取締役 CFO 岡崎 正明  
 取締役 藤長 国浩  
 社外取締役 鈴木 茂男  
 社外取締役 宗像 義恵  
 社外取締役 富永 由加里  
 社外取締役 宮川 由香  
 社外取締役 澤 円

### 監査役

常勤監査役 上野 光正  
 監査役 廣瀬 治彦  
 監査役 中野 通明  
 監査役 内藤 隆志

### 執行役員

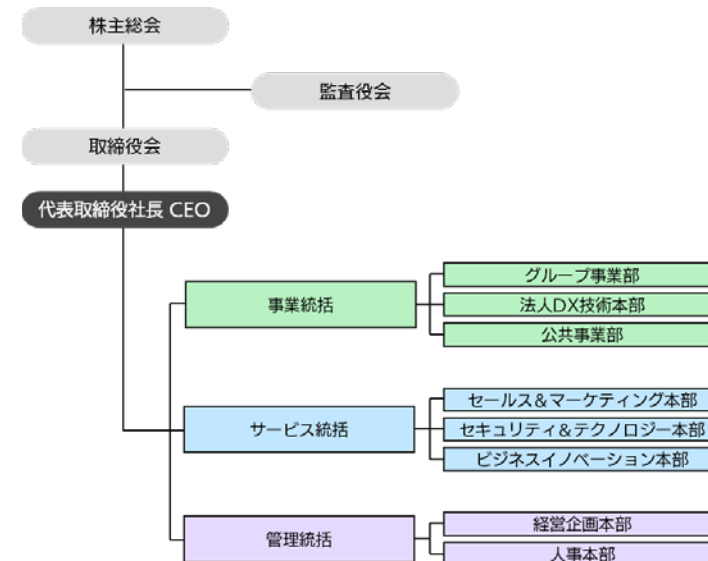
最高経営責任者執行役員 阿多 親市  
 副社長執行役員 CSO 佐藤 光浩  
 常務執行役員 CFO 岡崎 正明  
 常務執行役員 喜多村 晃  
 常務執行役員 CIO 渡辺 真生  
 上席執行役員 CCO 正岡 聖一  
 執行役員 青木 誠  
 執行役員 宮澤 拓哉  
 執行役員 CDO 金澤 謙悟  
 執行役員 CMO 上原 郁磨

役職名英文の正式名称は以下のとおりです

CEO Chief Executive Officer (最高経営責任者)  
 CSO Chief Strategy Officer (最高戦略責任者)  
 CFO Chief Financial Officer (最高財務責任者)  
 CIO Chief Information Officer (最高情報責任者)  
 CCO Chief Compliance Officer (最高コンプライアンス責任者)  
 CDO Chief DX Officer (最高DX責任者)  
 CMO Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)

## 組織図

(2023年4月1日現在)



## 認定・評価

(2023年7月1日現在)



えるばし



くるみん



令和4年度  
 「テレワーク先駆者百選」



2023  
 健康経営優良法人  
 Health and productivity

健康経営優良法人2023



DX認定



FTSE Blossom  
 Japan Index



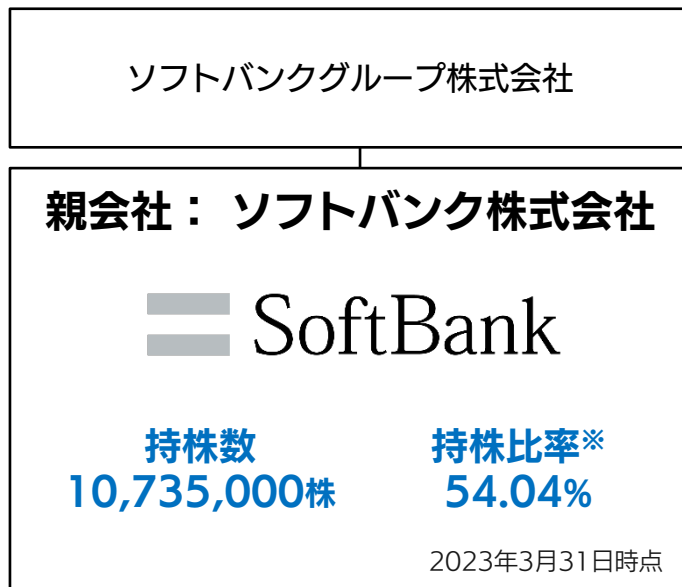
FTSE Blossom  
 Japan Sector  
 Relative Index

FTSE Blossom Japan  
 Index Series



JPX-NIKKEI Mid Small

JPX日経中小型株指数



## 主要な子会社 2023年3月31日時点（※代表者は2023年6月30日時点）

	<b>M-SOLUTIONS株式会社</b> クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステム の設計・開発及び保守・運用サービスの提供	代表者：植草 学 出資比率：100% 従業員数：56名
	<b>フォントワークス株式会社</b> デジタルフォント(書体)の企画・開発・販売及びソフトウェア の開発、テクニカルサービス、OEM等の提供	代表者：原田 愛 出資比率：100% 従業員数：57名
	<b>株式会社 環</b> クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケー ション改革を実現する教育コンテンツの提供	代表者：青木 沙織 出資比率：100% 従業員数：10名
	<b>サイバートラスト株式会社</b> IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサー ビスの提供	代表者：北村 裕司 出資比率：58.01% 従業員数：225名
	<b>リデン株式会社</b> 農業データの利活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援 するプラットフォームの提供	代表者：上原 郁磨 出資比率：82.57% 従業員数：2名
	<b>株式会社電縁</b> 通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、 Webシステム開発の提供	代表者：小中 帝宣 出資比率：100% 従業員数：76名
	<b>アイ・オーシステムインテグレーション株式会社</b> 情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供	代表者：関口 雅之 出資比率：100% 従業員数：27名

## クラウドとセキュリティで お客様のDX化を支援

### ICTサービスビジネス

#### 通信

- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築/運用保守
- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

#### エンタープライズ

- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

#### 公共

- クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等

#### 個人

- ノートンストア等のECサイト運営代行
- フォントライセンスのEC販売 等



## 国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

クラウドサービスが普及し始めた2009年からクラウドビジネスを開始し、エンタープライズ企業を中心にMicrosoft 365の導入、Microsoft Azure環境での構築支援など、クラウドソリューションの導入と運用を行っています。このクラウドソリューションを基盤に、さらなるデータの利活用やDX人材の育成・創出などお客様の課題に寄り添った幅広いDX支援を行っています。

### 実績

クラウドソリューションの導入実績は1,000社以上に及び、豊富な開発実績とノウハウを蓄積。製造業や建設業などさまざまな業界に向けて支援を行っています。

建設業、製造業、教育機関など  
大手企業を中心に多数導入



### 外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向けに行うアワードで10年連続受賞。2023年は、セキュリティ分野の「Defend against threats with SIEM plus XDR」を受賞しました。

マイクロソフト ジャパン  
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から10年連続受賞

Microsoft Worldwide  
Partner Award



日本初の4冠受賞

### サービス

clouXion (クラウジョン) は、Microsoft 365 を利活用するための当社のクラウドソリューションブランドです。「働き方改革」の具体的な課題解決のために生まれました。



clouXion 導入実績 **898社**  
2023年4月時点



## 情報セキュリティのトータルソリューションを提供

巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視を行うマネージドセキュリティサービス (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※1構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。

### 実績

数百を超えるエンタープライズのお客様にMSSを提供しています。自治体向けには12県405市町村に対して、総務省が推進を行う「自治体情報セキュリティクラウド」の構築・運用、MSSの提供を行っています。



### 外部評価

SBTのセキュリティサービスを多くの企業・組織にてご利用いただき、国内の各種市場調査において売上シェア1位を獲得しています。



出典：ITR「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」

出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」

「Microsoft 365 運用監視サービス」  
「SIEM 運用分析サービス／マネージド XDR サービス」市場  
ベンダー別売上金額シェア No.1 ※2

「SIEM運用サービス」市場  
売上金額シェア No.1 ※3

### サービス

セキュリティ監視センターにて、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様環境のセキュリティシステムやネットワークを監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。



セキュリティ監視センター

※1 「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。

※2：出典 ITR「ITR MarketView：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」ベンダー別売上金額シェア（2021年度）

※3：出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」（2023年6月発行）<https://mic-r.co.jp/mr/02800/>





## 情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、  
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

### 基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、  
お客様の価値創造に貢献します。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や  
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減  
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、  
透明で公正な情報開示をします。



次世代育成、情報セキュリティの強化、  
災害対策・復興支援などを通じて、  
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、  
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性  
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、  
誠実な事業活動を行います。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、  
取引先との公正な取引関係を築きます。



## 2023/5/10 AKKODiS、SBテクノロジーの新卒社員教育を支援



SBTのグループ会社も含めた2023年度の新卒社員62名に対し、AKKODiSによる教育研修を実施いたします。両社は、2022年7月19日にエンジニア採用、人財開発の領域で業務提携契約を締結しており、これまでSBTで就業するAKKODiSのエンジニアに対し、SBTのクラウドやセキュリティの事業に即した実践的な教育を実施し、即戦力となる人財の育成を行ってまいりました。こうした経験を生かしプログラミングの基礎研修に加え、クラウド、サイバーセキュリティなど実践的なスキル習得が可能となる包括的なエンジニア研修を実施いたします。

## 2023/6/12 SBテクノロジー、マイクロソフトのソリューションパートナー全6分野に認定



Microsoft  
Solutions Partner  
Microsoft Cloud

日本マイクロソフトのクラウドパートナープログラム「Microsoft Cloud Partner Program」に設けられたソリューションパートナー認定制度の全6つのソリューション分野すべてにおいて、高い技術力と豊富な実績を証明したパートナーに与えられるソリューションパートナー認定を取得しました。これにより、Microsoft Cloud 全体における幅広い技術と専門知識を有する企業であることが証明されます。すべての分野でソリューションパートナーに認定されているのは、SBTが国内唯一の企業となります（※2023年6月時点）。

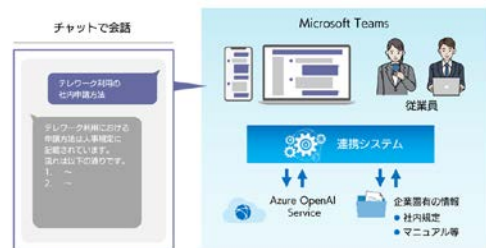


## 2023/06/28 【10年連続】マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023を受賞



年に1回優れた実績をおさめた企業を選出するプログラム「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2023」において、セキュリティ分野の「Defend against threats with SIEM plus XDR」を受賞しました。セキュリティ運用や複雑化する脅威に対して課題を持つお客様に、Microsoft 365 Defender と Microsoft Sentinel で実現するXDRとSIEMにより、セキュリティ運用の自動化・効率化を図り、優れた実績を挙げたパートナーに授与されます。本アワードは今年で10年連続、計11回の受賞となります。

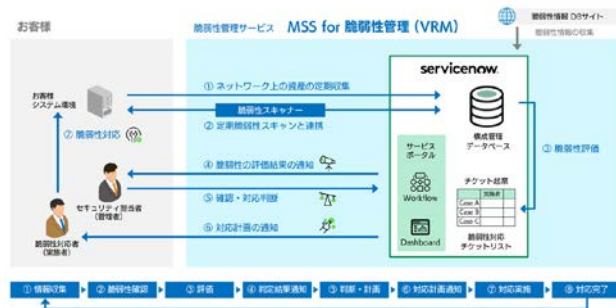
## 2023/6/29 Azure OpenAI Service と連携する独自システムを開発し、社内利用開始



利用イメージ

Azure OpenAI Service と連携する独自システムを開発し、2023年6月より全従業員約1,000人が利用を開始しました。独自開発したシステムは、Microsoft ソリューションにおける豊富な開発実績を応用したビジネスロジックが組み込まれており、また様々な業務アプリケーションやデータベースを容易に拡大・追加できる拡張性の高いシステム構成を実現しています。社内で利用する Microsoft Teams やお問い合わせ管理システムなどと連携し、業務効率化・生産性向上を推進します。

## 2023/7/3 脆弱性管理サービス「MSS for 脆弱性管理 (VRM)」をサブスクリプションで提供開始



ネットワーク上の資産の収集・可視化、および脆弱性スキャナによる管理対象IT資産への脆弱性スキャンを定期的に行い、お客様のセキュリティ運用を支援する「MSS for 脆弱性管理 (VRM)」を、2023年7月3日より提供開始しました。本サービスは、管理対象のIT資産と脆弱性情報を収集・可視化、優先順位付けを自動で行い、検出された脆弱性の一元管理を実現するサブスクリプションサービスです。危険度の高い脆弱性を優先的に考慮しながら、お客様のご状況に応じた効率的な脆弱性管理が可能となります。

## 2023/7/20 Microsoft Top Partner Engineer Award を受賞



「Microsoft Top Partner Engineer Award」において、「Business Application」と「Security」の領域で当社社員2名が受賞しました。本アワードは、日本マイクロソフトがパートナー企業を対象に、Microsoft ソリューションにおける案件への貢献、先進的な技術の導入、また社内外への普及活動等に尽力したエンジニアを選出するプログラムで、今年初めて新設されました。全4つに定められた領域のうち、SBTは「Business Application」と「Security」で受賞しました。

## 2023/7/25 SIEM運用サービス市場においてシェア1位を獲得



デロイト トーマツ ミック経済研究所株式会社が2023年6月に発行した市場調査レポート「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」※1において、2022年度のSIEM運用サービス市場の売上金額シェア1位を獲得しました。本レポートによると、2022年度の売上金額ベースで前年比144.4%と大きく伸長し、国内シェア33.6%で1位を獲得しています。さらに、同市場の2023年度においても、SBTは前年比110.3%と二桁伸びが見込まれ、シェア1位と予測されています。

※1：出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」(2023年6月発行) <https://mic-r.co.jp/mr/02800/>

## 2023/7/27 ESG投資の主要指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定



FTSE Blossom  
Japan Index

ESG観点から評価が高い日本企業の株式で構成される株価指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定されました。

本インデックスは、FTSE Russell社により構築され、ESG評価が高い日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、インダストリー・ニュートラル※2となるよう設計されています。2023年6月19日時点において、日本株310銘柄で構成されています。なお、本インデックスは、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のESG投資におけるパッシブ運用ベンチマークとして採用されています。

※2：業種の偏りが発生することを避けるため、親インデックスであるFTSE Japan All Cap Indexの業種比率を考慮し構成銘柄を選定

# 数字で見るSBT

※(連結)の記載がない項目はSBT単体の指標となります。  
 ※期間の掲載がない項目は2023年3月末時点のものです。



## 働く人

SBT  
社員数  
(連結) **1,417名**

23年度新卒  
**62名**  
(連結)

平均年齢  
**38.4歳**

## 働き方

生産性向上による残業削減  
**42時間** → **27時間**  
2015年度 2022年度

1人あたり有給消化率  
**70%**  
(2022年度)

テレワーク実施率  
**60%**  
(2022年度下期)

## 成長支援

能力開発休暇の活用 (2022年度)  
取得人数 **242人** 取得総日数 **536日**

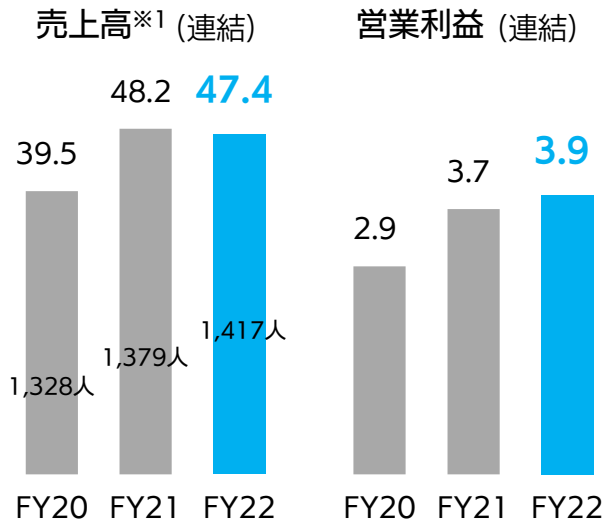
PMP保有者 **155人** CBAP保有者 **52人**

## 技術人員

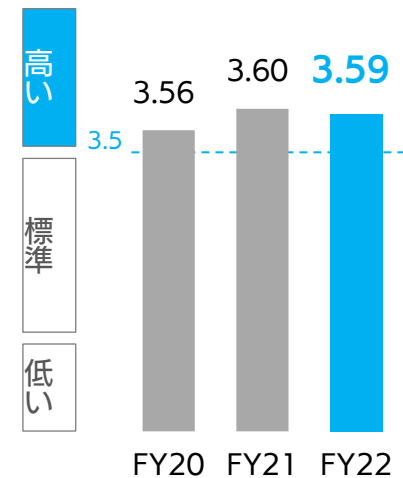
職種比率  
**7 : 2 : 1**  
(技術) (営業) (管理)

開発パートナー  
**約2,800人**

## 社員1人あたり指標 (百万円)



## 社員総合満足度 (5段階評価)



### PMP (Project Management Professional)

幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBT技術社員の約2割が保有。

### CBAP (Certified Business Analysis Professional)

5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験を認定する資格試験。

当社社員が働くうえで重視する指標の1位は「**やりがい**」。アンケートではやりがいに関する各指標が例年高水準

※1 FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

# 資料留意事項

---

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 2022年3月期より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

# 免責事項

---

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

**情報革命で人々を幸せに**

**～ 技術の力で、未来をつくる ～**

**＝ SB Technology**